

KONICA

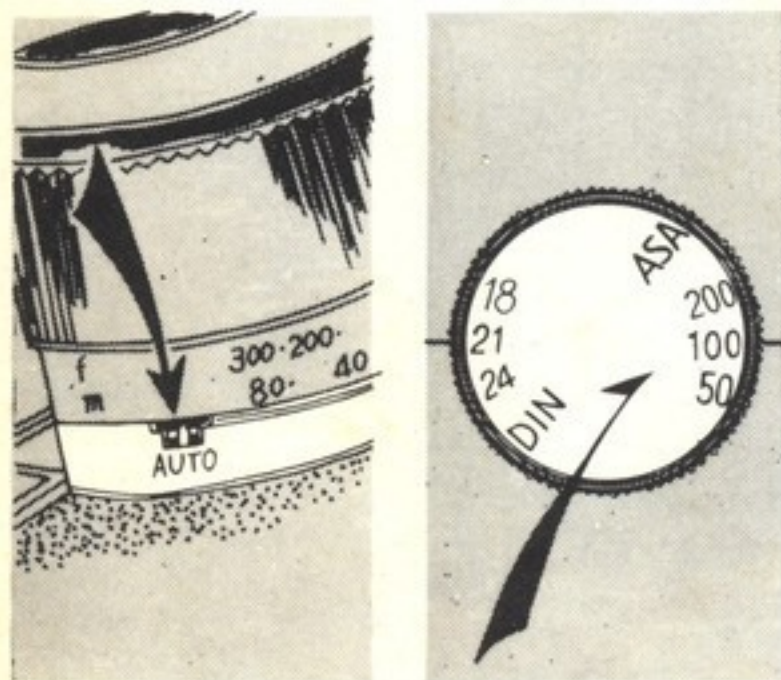
EE-MATIC *Deluxe*

使用說明書

使い方のたいせつなところ……………	3	フィルムの巻戻し方……………	22
各部分のなまえ……………	4	フィルターを使うときは……………	24
巻上げレバーと フィルムカウンター……………	8	B (バルブ) 露出について……………	25
フィルムの入れ方……………	9	逆光線撮影の露出について……………	26
EE 撮影のやり方……………	13	フラッシュ撮影のやり方……………	28
警告マークについて……………	15	コニカEEマチック・デラックスの おもな性能……………	32
ピントの合わせ方と ファインダーの見方……………	16	コニカEEマチック・デラックスの シャッターについて……………	34
カメラはしっかり構えて……………	20	コニカカメラサービス・ステーション…	35
セルフタイマーの使い方……………	21		

使い方のたいせつなところ

フィルムを入れたら、マニュアルレバー⑳をAUTOのクリック位置に確実に合わせ、フィルム感度ダイヤル㉑を使用フィルムの感度（ASA）に合わせてください。これでEE撮影ができます。



暗すぎて写せないところでは、シャッターボタン①を押したとき、ファインダー⑦内に赤色の警告マークが現われ、同時にシャッターがきれないよう安全装置が働きます。



各部分のなまえ



各部分のなまえ



各部分のなまえ

⑳ マニュアルレバー

㉔ ガイドナンバー

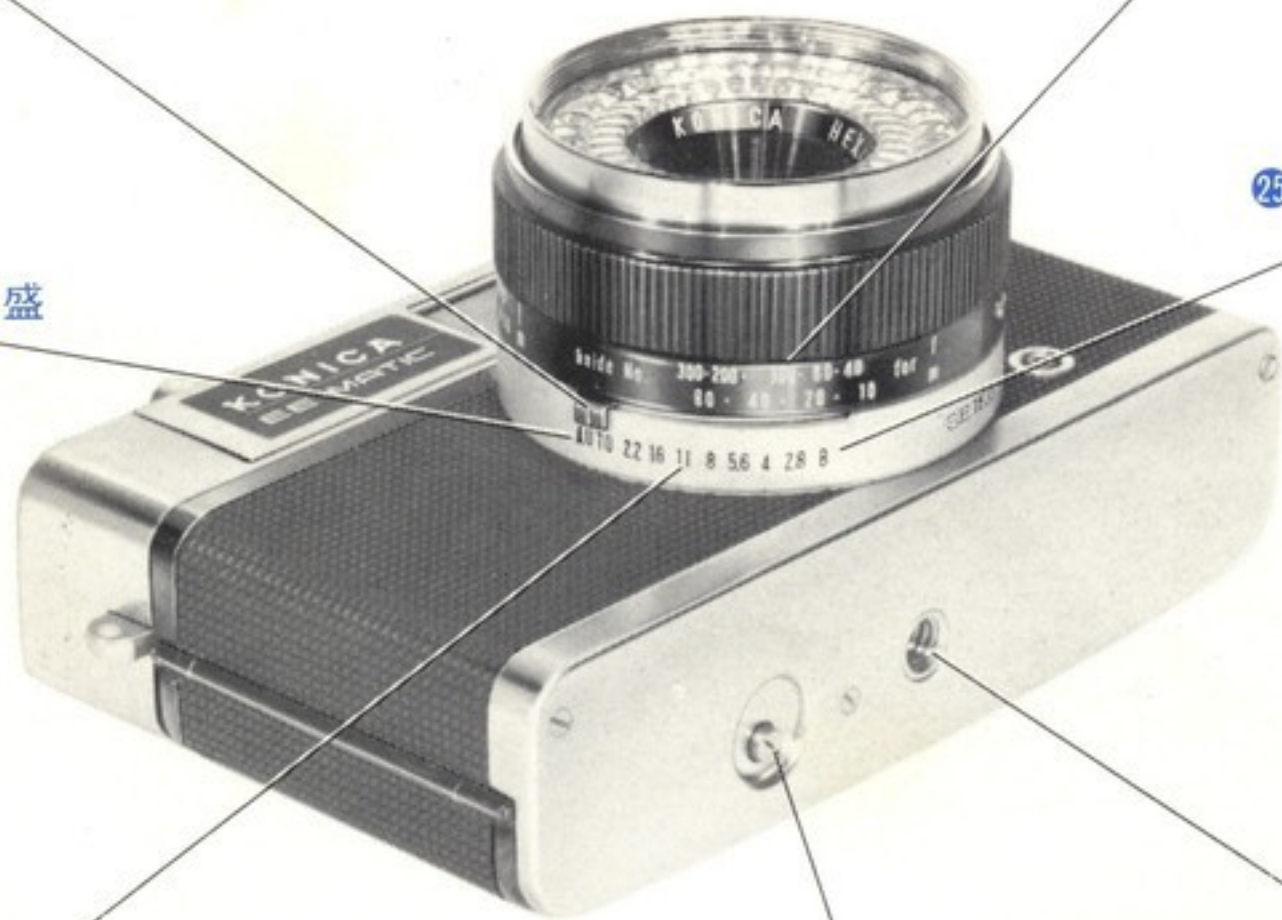
㉑ AUTO目盛

㉕ B(バルブ)目盛

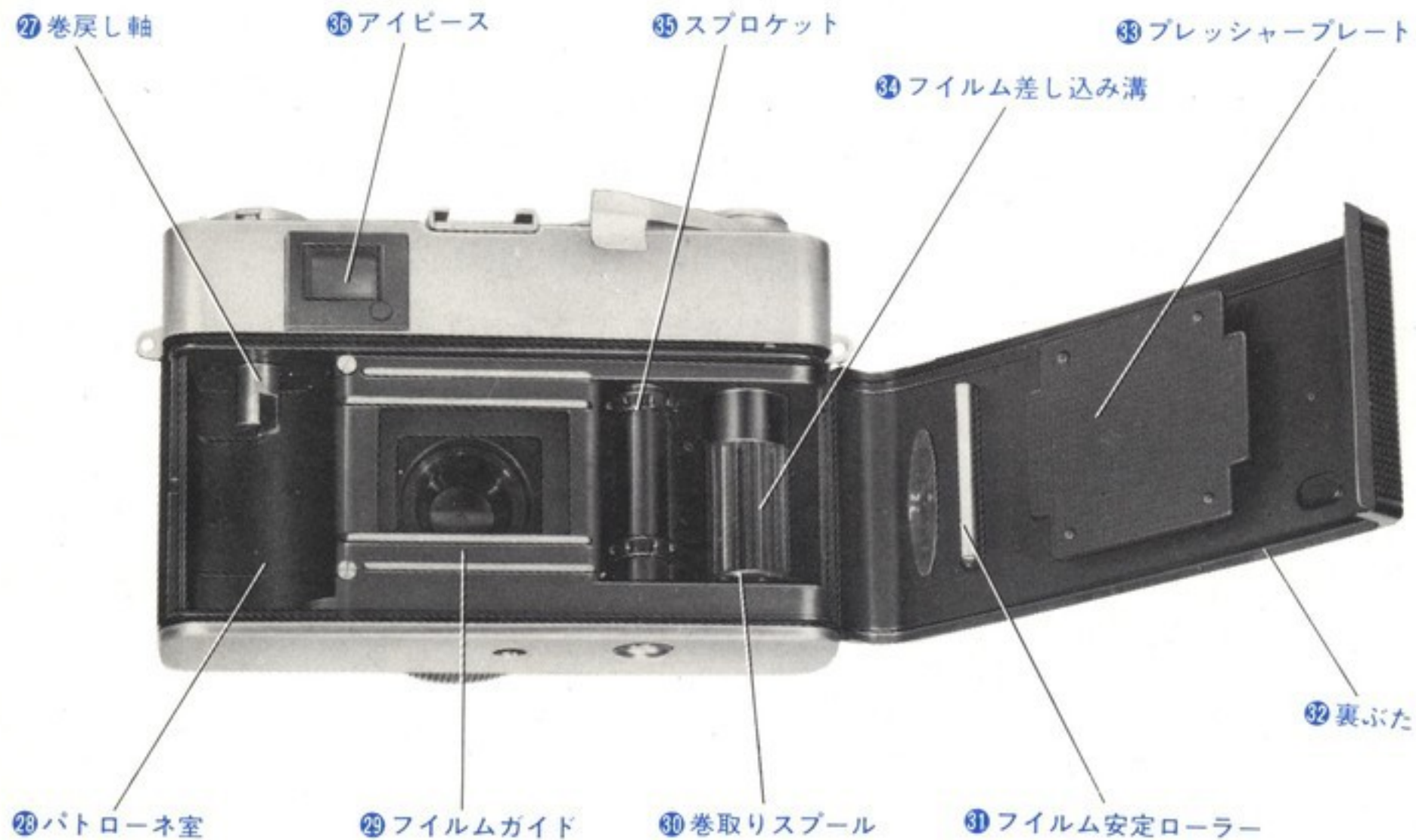
㉒ マニュアル絞り目盛

㉓ 巻戻しボタン

㉖ 三脚ねじ



各部分のなまえ



巻上げレバーと フィルムカウンター

巻上げレバーは止まるところまで確実に操作してください。



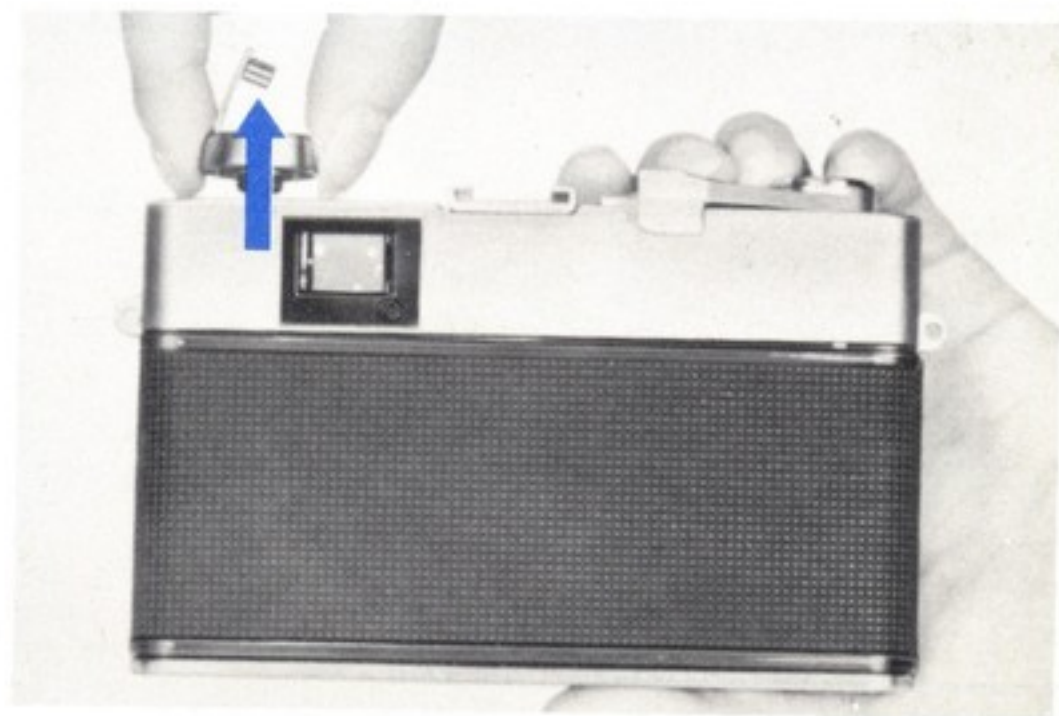
- 巻上げレバー⑮を止まるところまで回すと、フィルムが一枚巻上げられ、フィルムカウンター⑬が一目盛進み、同時にシャッターがチャージ（シャッターボタン①を押せばきれる状態になる）されます。
- 巻上げレバーは一回操作したら、シャッターをきらなければ続けて巻上げることはできません。また、シャッターをきったら、巻上げない限り再びシャッターをきることができない二重露出防止機構になっています。
- ファイルムカウンター⑬は、巻上げレバー⑮を操作するごとに一目盛ずつ進み、撮影枚数を示します。そして、裏ぶた⑳を開くと自動的にスタートマーク(S)に戻ります。

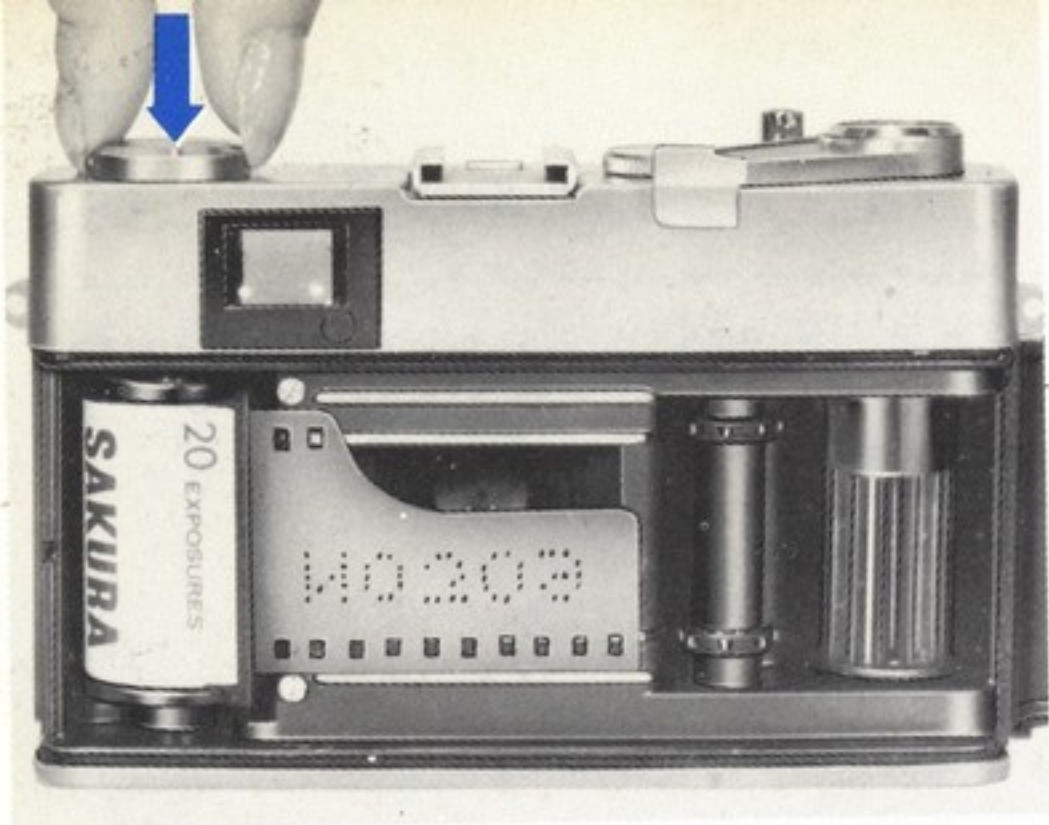
フイルムの入れ方

- コニカEEマチック・デラックスにはパトローネ入り35ミリフィルムを使用します。
- カメラにフィルムを入れるときは直射日光を避け、日陰でおこなって下さい。
- マニュアルレバー⑭をAUTOからはずしておくど、レンズキャップをつけたままでも、カラ写しができますから操作が楽におこなえます。

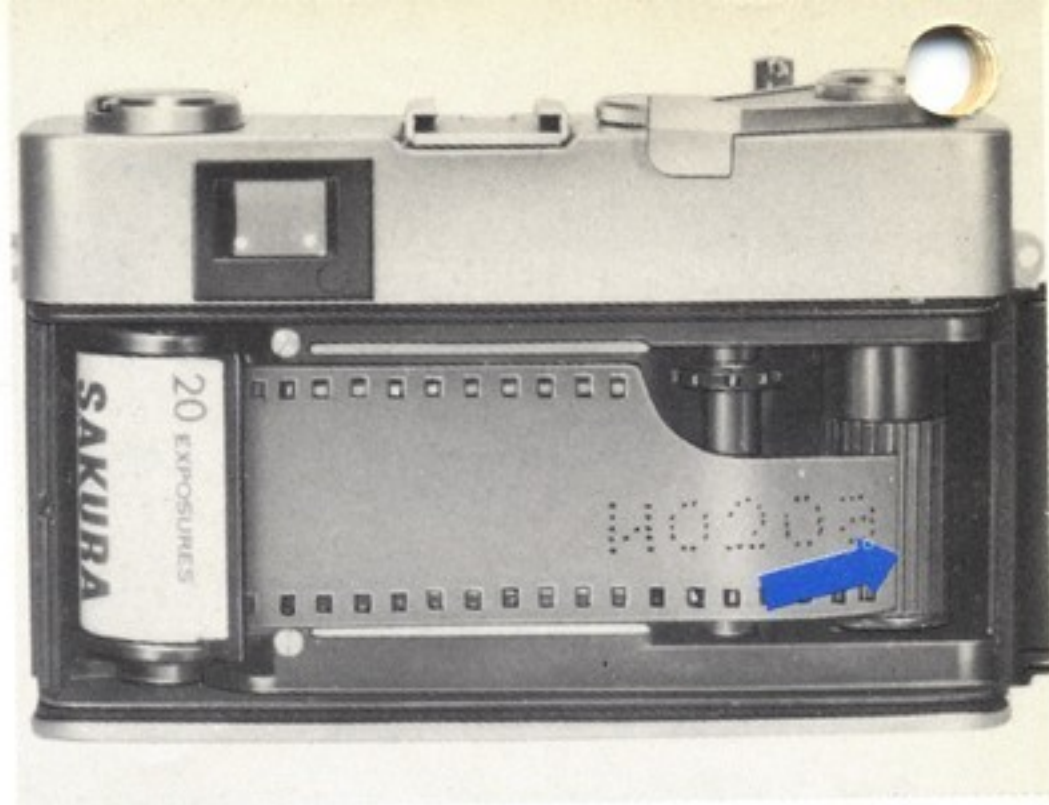
さくらカラー

- ① カメラの裏ふた⑳を開くには、巻戻しノブ⑩を引き出し、さらにもう一段強く引き上げると開きます。

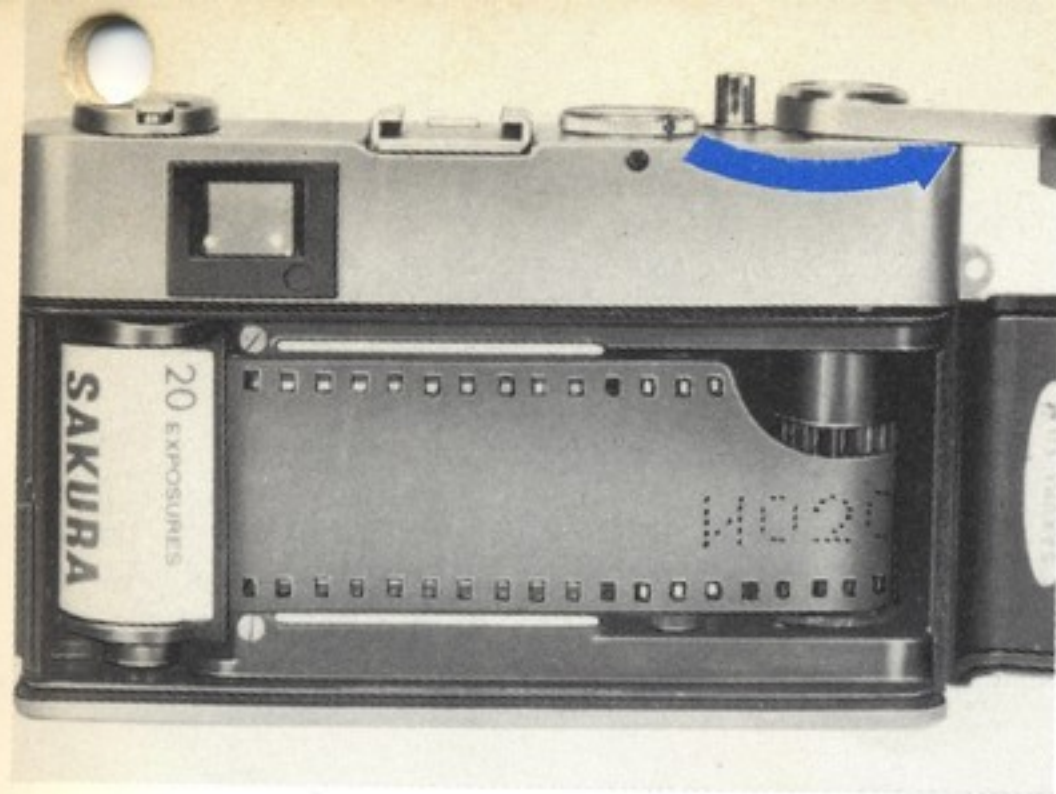




②パトローネをパトローネ室⑳に入れ、巻戻しノブを元の位置まで押し込んでください。十分戻りきらないときは左右に少し回すとおさまります。



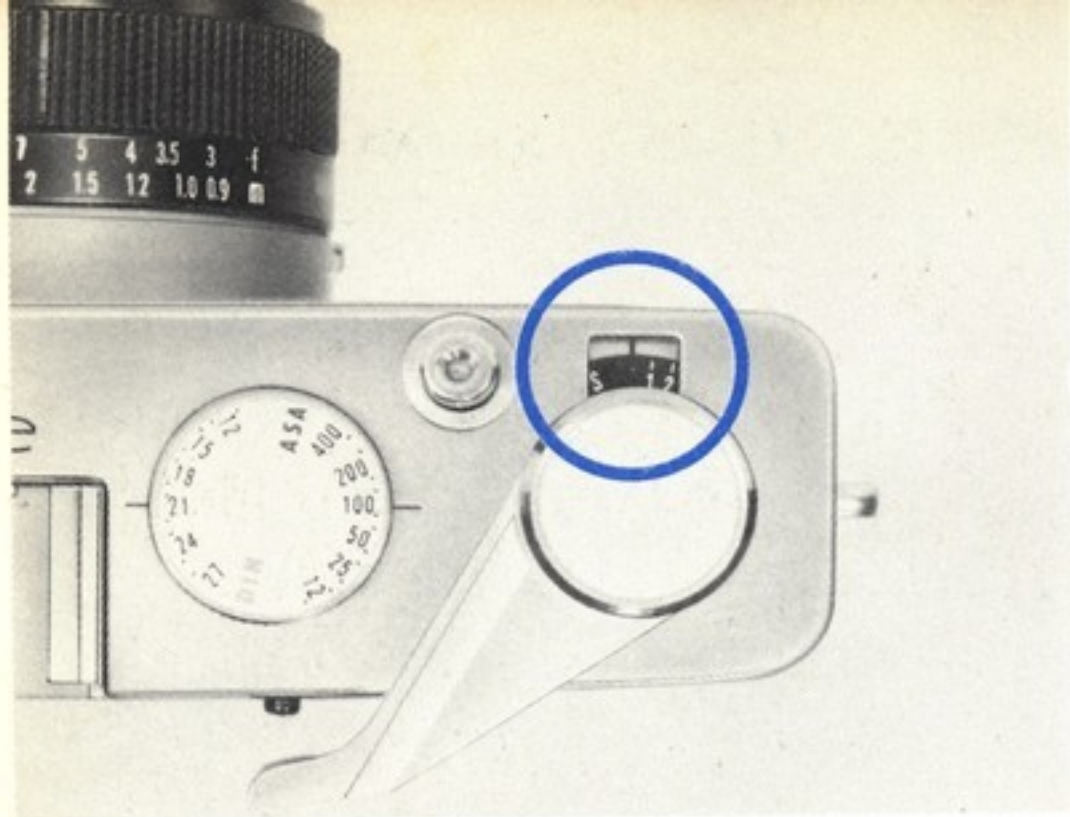
③フィルムを先を巻取りスプール㉑の溝に差し込みます。どこでも入れやすい溝に差し込んで結構です。



④ 卷上げレバー⑮を回してフィルムをスプールに巻きつけ、スプロケット⑳の歯がパーフォレーション（フィルムの穴）にかかっていることを確認して裏ぶたを閉じます。裏ぶたは指先で押えるとしまります。

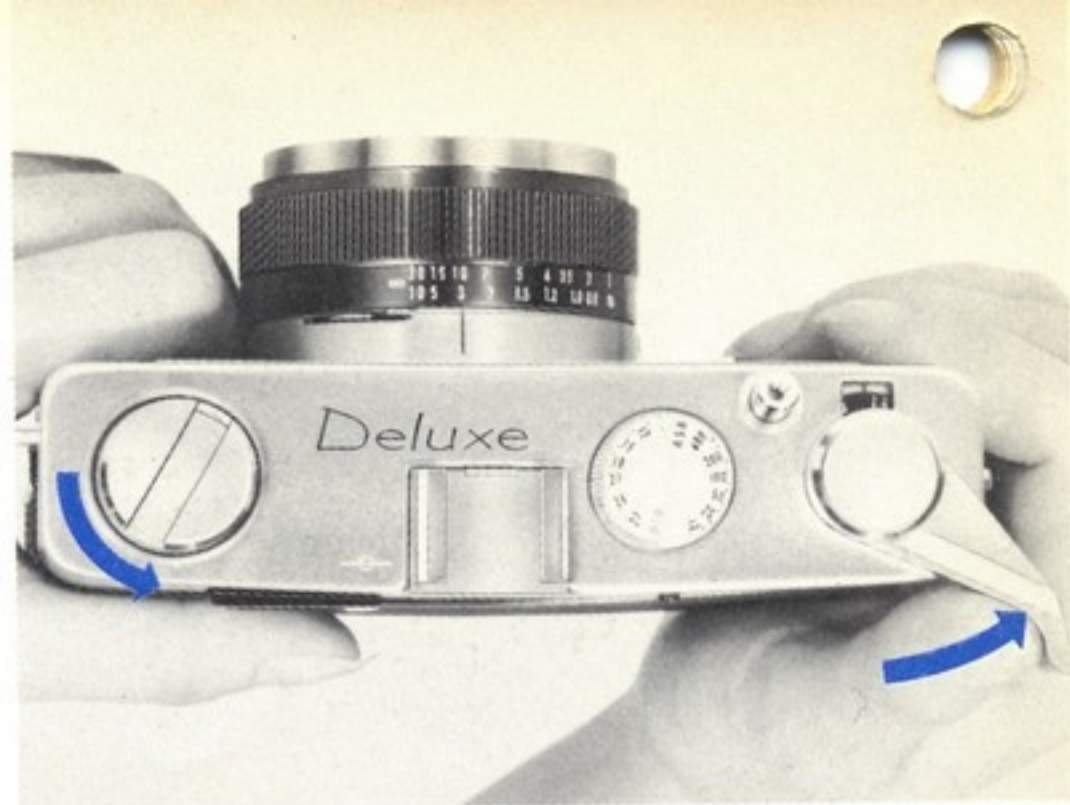


⑤ 裏ぶたを閉じたら、巻戻しクランク㉑を起し、矢印の方向に静かに回し、パトローネ内のフィルムのゆるみをなくしておきます。



⑥フィルムを巻上げシャッターボタン①を押し、カラ写しを二度おこなってください。これでフィルムカウンター⑬は1の手前を指しています。

次に巻上げると一枚目の撮影ができます。



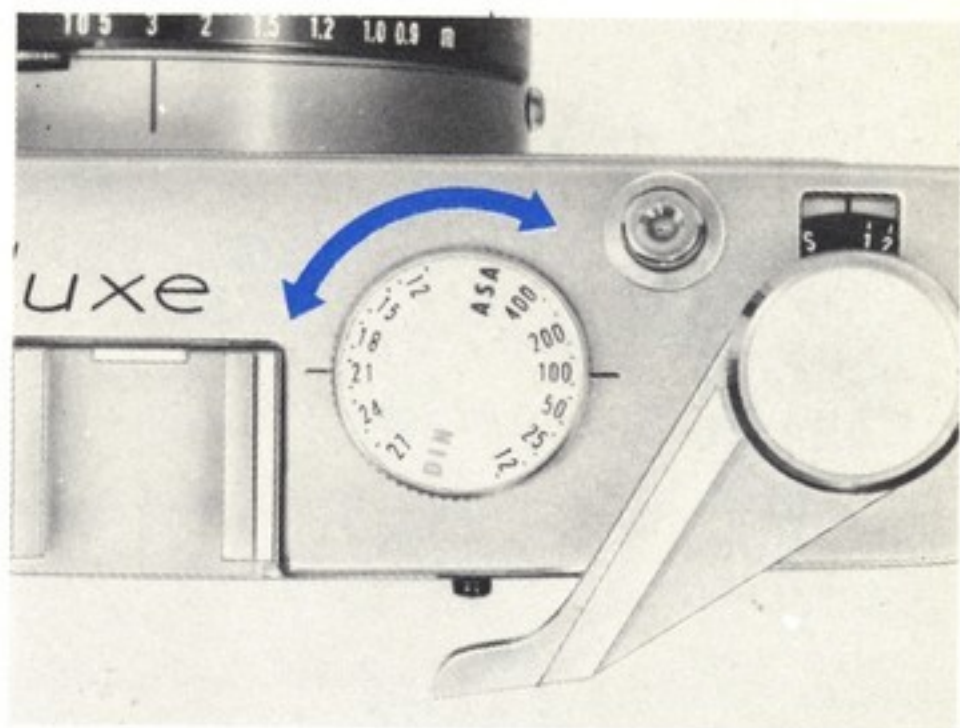
フィルム巻上げの良否の確かめ方

フィルムが正しく巻上げられているときは、巻上げをおこなうごとに巻戻しノブ⑩が反時計方向に回ります。もし回らなければ、正しく巻上げられていないのですから、ご注意ください。

EE 撮影のやり方



- ① マニュアルレバー⑳をAUTOのクリック位置に確実に合わせます。
マニュアルレバーをAUTOに合わせるとEE機構が働きます。EE撮影のときは必ずAUTOに合わせておいてください。



- ② フィルム感度 (ASA) を合わせます。
フィルム感度ダイヤル⑰を回して、使用フィルムの感度 (ASA) を指標⑭に合わせます。これを忘れると正しい露出が得られません。



以上の二つを合わせておけばEE撮影ができますから、被写体にピントを合わせ構図を決め、シャッターボタン①を静かに押し撮影してください。絞りとシャッターの組合せが自動的に決まって適正露出が与えられます。ファインダー内で、そのときのシャッター速度がわかります。

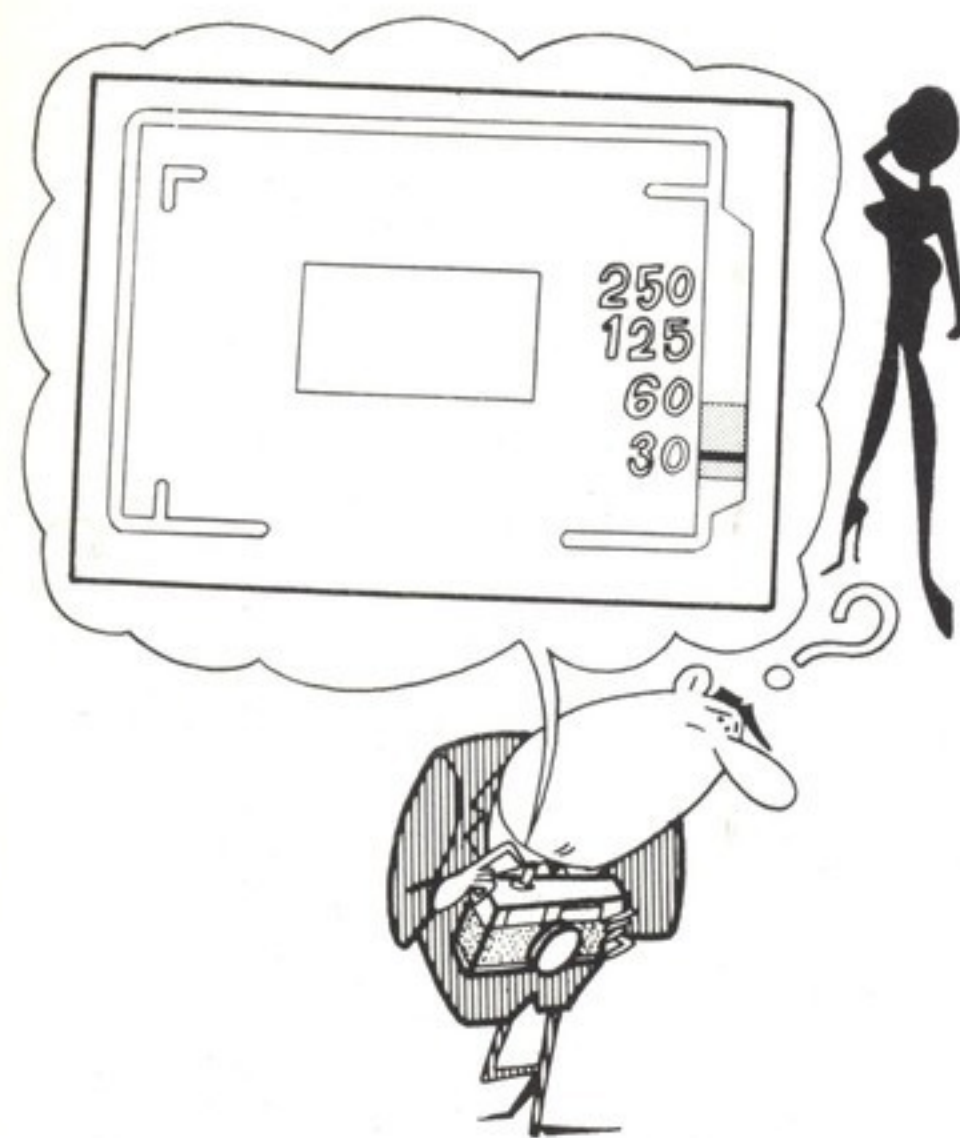
フ イ ル ム 感 度 目 盛

ASA	(10)	(16)	(20)	(32)	(40)	(64)	(80)	(125)	(160)	(250)	(320)
	12	25	50	100	200	400					
DIN	(11)	(13)	(14)	(16)	(17)	(19)	(20)	(22)	(23)	(25)	(26)
	12	15	18	21	24	27					

カッコ内の数字は中間の線に相当する感度です。

- フィルム感度 (ASA) はフィルムの外箱や使用書に書いてあります。
- ASA・DINとはフィルムが光に感じる度合を示す単位です。

警告マークについて



EE機構が働かないような暗すぎる場所、つまり F2.8 $\frac{1}{30}$ 秒でも露出不足の場合は、シャッターボタン①を押したとき、ファインダー内に赤色の警告マークが現われます。そして、シャッターがきれないように安全装置が働きます。

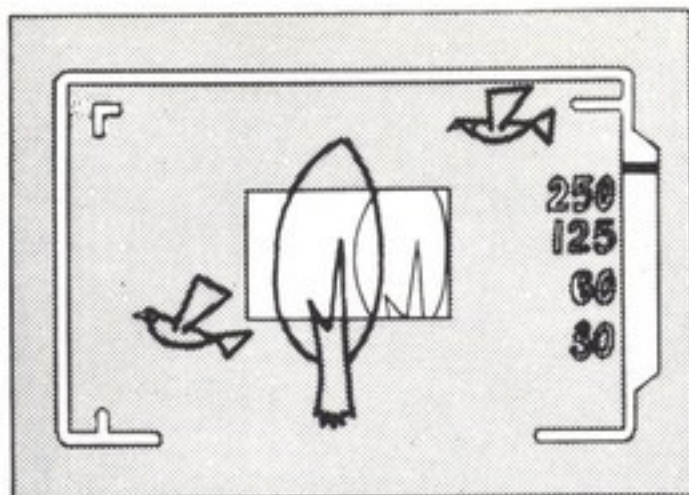
このようなときは、ライトを使って被写体を明るくするか、フラッシュ撮影をします。

ピントの合わせ方と ファインダーの見方

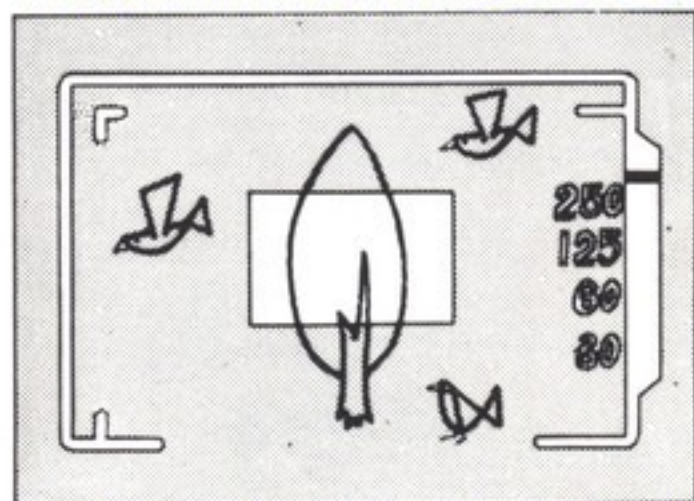
ピントの合わせ方

ファインダーをのぞくと、中央に四角い黄色の部分が見えます。これが距離計を合わせる二重像部³⁹で、この中の被写体は、ピントが合っていないときは二重にずれて見えます。フォーカスリング¹⁹を動かすと二重像の片方の像が動きます。この二重像のずれがなくなり、ぴったり重なったときがピントの合ったところです。

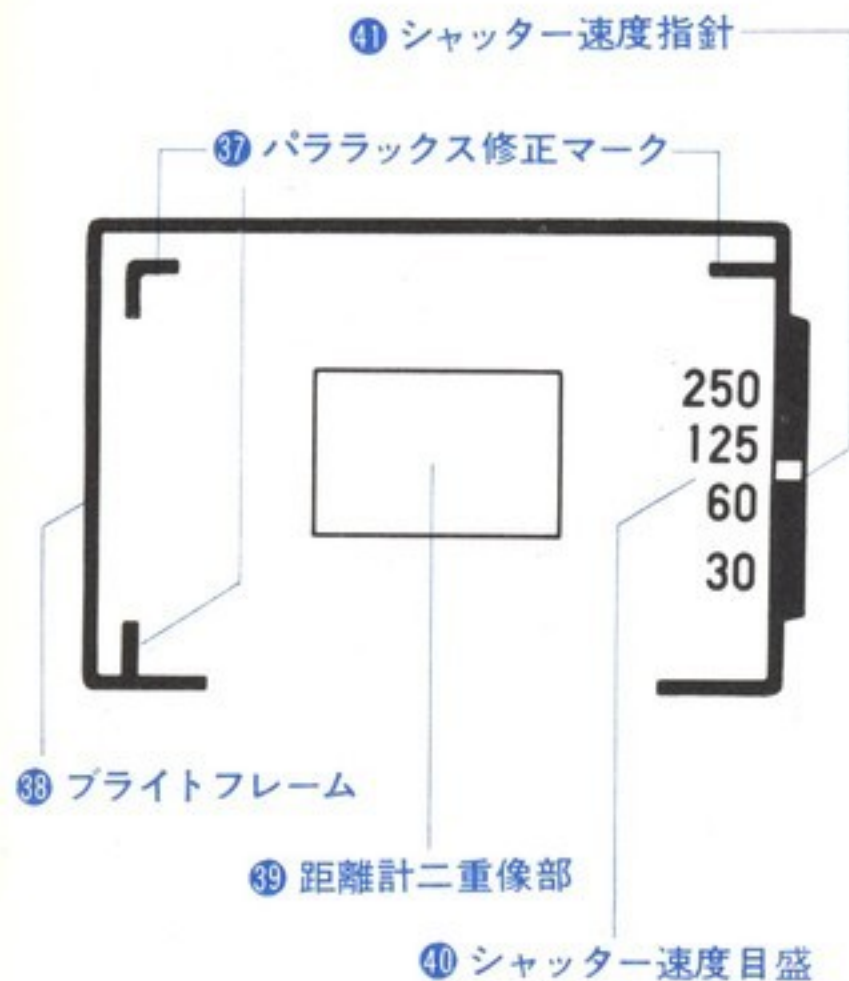
このときの距離目盛¹⁸は、カメラ——正しくは距離基準マーク¹²——からの距離を表わしています。



ピントが合っていないとき（ねらった被写体の二重像が離れている）



ピントが合ったとき（ねらった被写体の二重像が一致している）



コニカE Eマチック・デラックスのヘキサノンレンズは、焦点距離が40ミリの準広角レンズなので、ピントの合う範囲が深い特長があります。ことに日中の屋外では速いシャッターと小絞りが働くため、ピントの合う範囲が非常に深くなります。

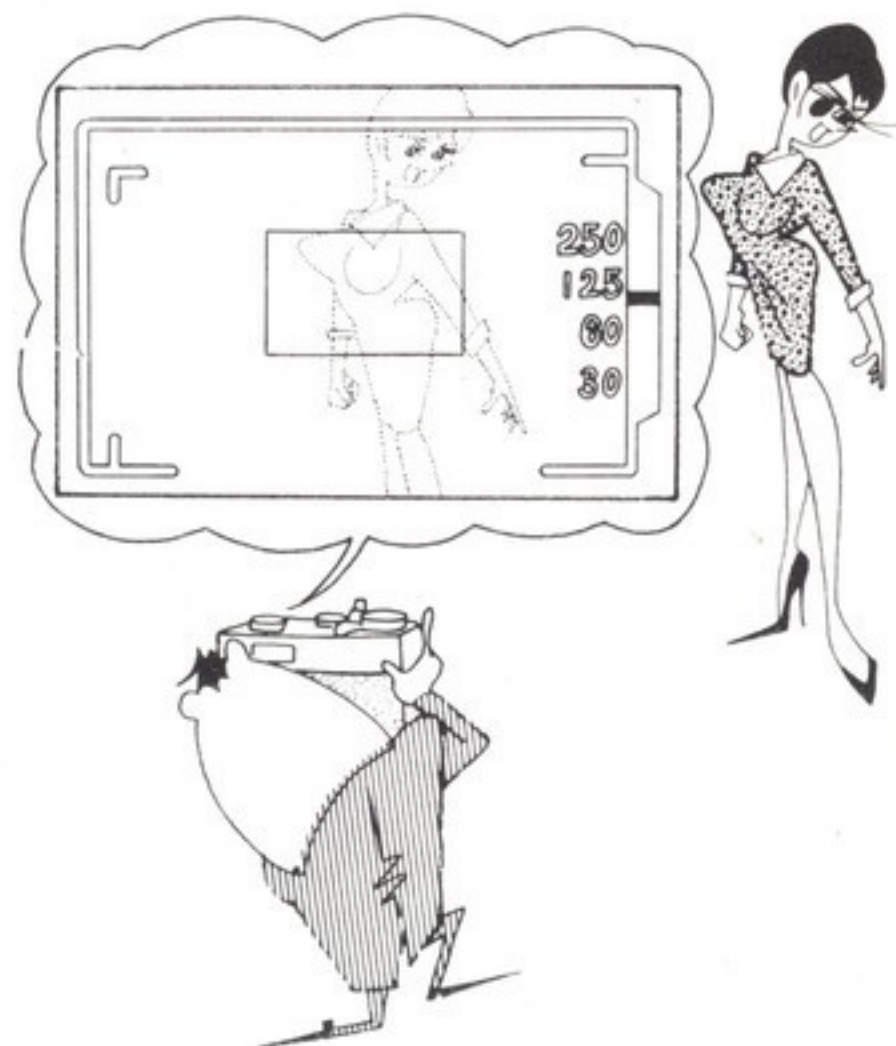
日中屋外のスナップ撮影などは、いちいち距離計でピントを合わせないで、およその目測によって距離合わせをしても、じゅうぶんピントが合います。

距離目盛はメートル (m) とフィート (f) の両方が記してあります。

ファインダー

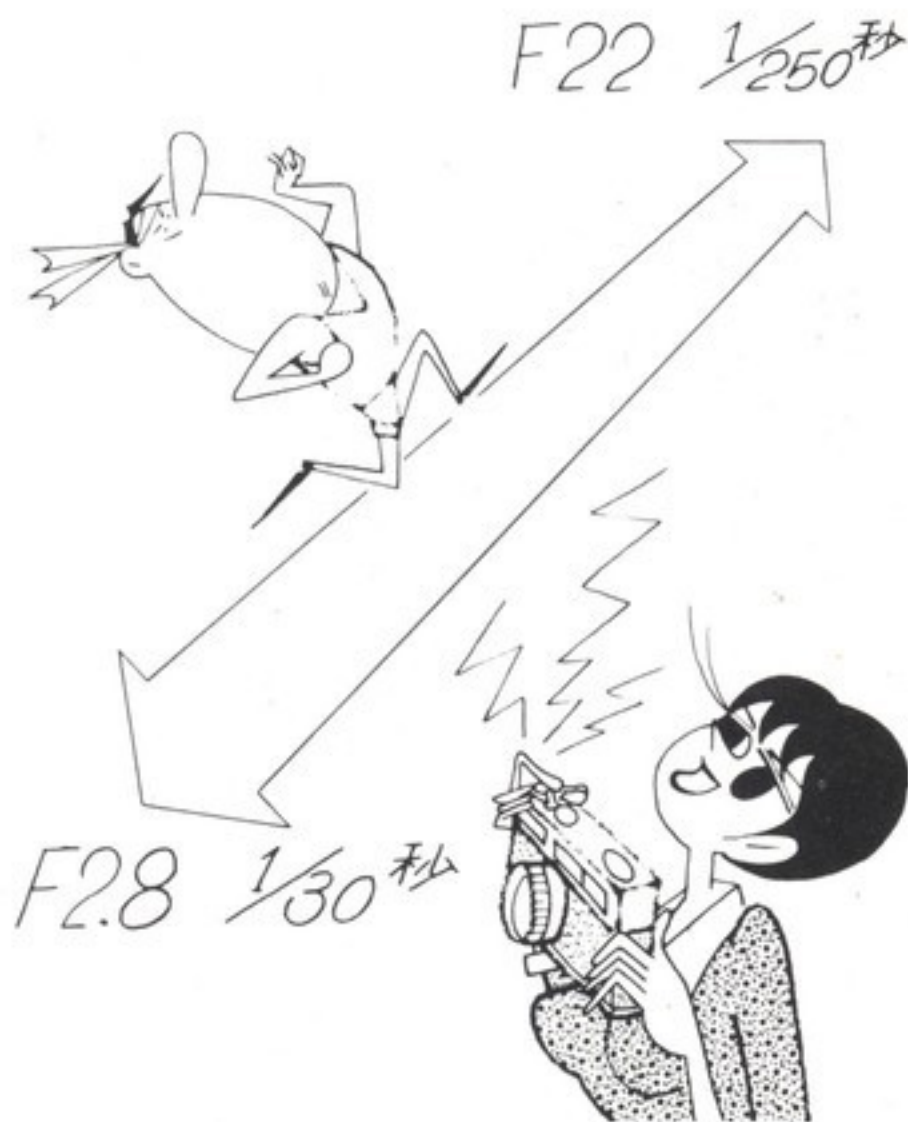
コニカEマチック・デラックスは、明るく構図が決めやすいブライトフレームファインダーです。ファインダーをのぞくとブライトフレーム③⑧が見えます。このフレーム内が実際に写る範囲です。

1メートル以内の距離で写すときは、パララックス（視差）のため、頭のほうが欠けるおそれがありますから、パララックス修正マーク③⑦の内側で構図を決めてください。



- ファインダー内に 30 60 125 250 とシャッター速度④が記してあり、シャッターボタンを押したとき、そのときに働くシャッター速度を指針④が示します。シャッター速度は四段階だけ示してありますが、実際にはEE機構に連動して $\frac{1}{30}$ から $\frac{1}{250}$ まで無段階に働きます。

- マニュアルレバー②を AUTO からはずすと、つまり、マニュアル絞りおよびB (バルブ) 使用のときは、ファインダー内にフラッシュマーク (●) が現われます。このときは、ファインダー内のシャッター速度指針は働きません。



カメラはしっかり構えて



よいピントの写真を撮すためには、シャッターボタンを押す際カメラぶれを起さぬよう、確実に構えることがたいせつです。カメラは両手でしっかり持って手、鼻、ひたいなどでうまく顔に密着させて安定をはかり、指の腹でシャッターボタンを静かに押して撮影してください。

- 縦位置のカメラの構え方は、横位置の写し方よりもカメラの保持がむずかしいようですが、被写体によっては縦位置で写すこともありますから、練習してよく慣れてください。

セルフタイマーの使い方

コニカEEマチック・デラックスは、どのカメラよりも使いよいEEセルフタイマーがついています。

①セルフタイマーレバー⑥をいっぱいにセットします。

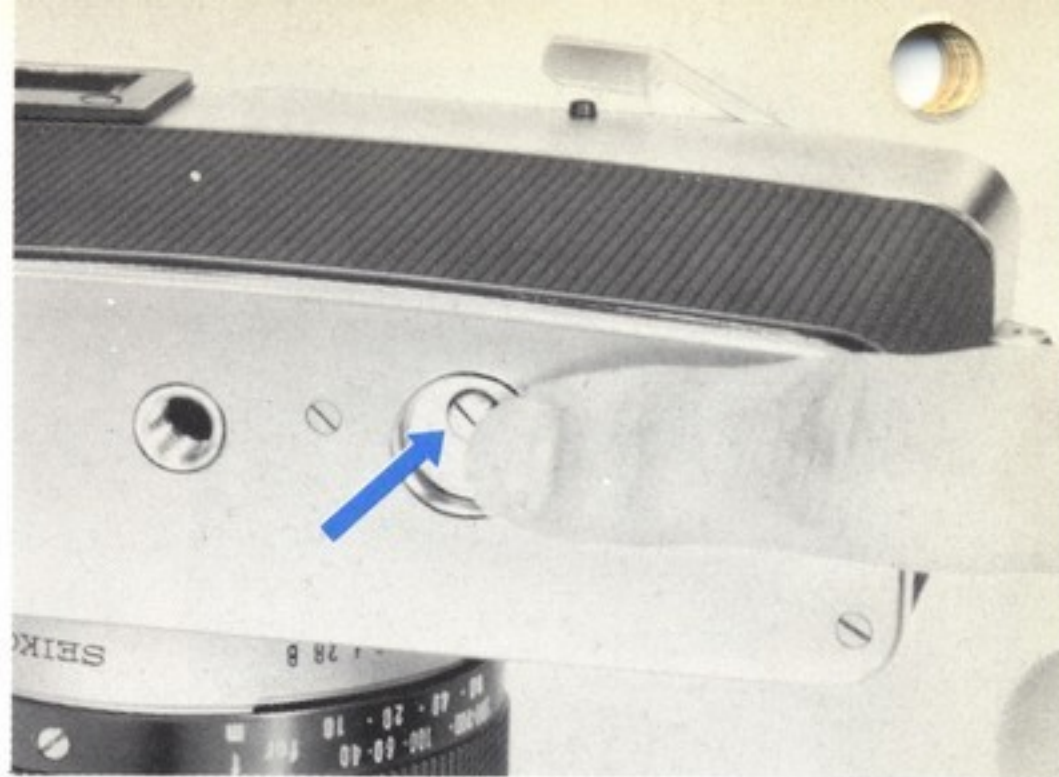
②シャッターボタン①を押せば、約10秒たってシャッターがきれます。

●シャッターボタンを押すとき、カメラの前側は避けてください。前に立つと、ご自分の陰に対する露出になってしまいますから……。



フィルムの巻戻し方

フィルムのきまった枚数の撮影が終わったら、パトローネに巻戻してからカメラより取り出します。



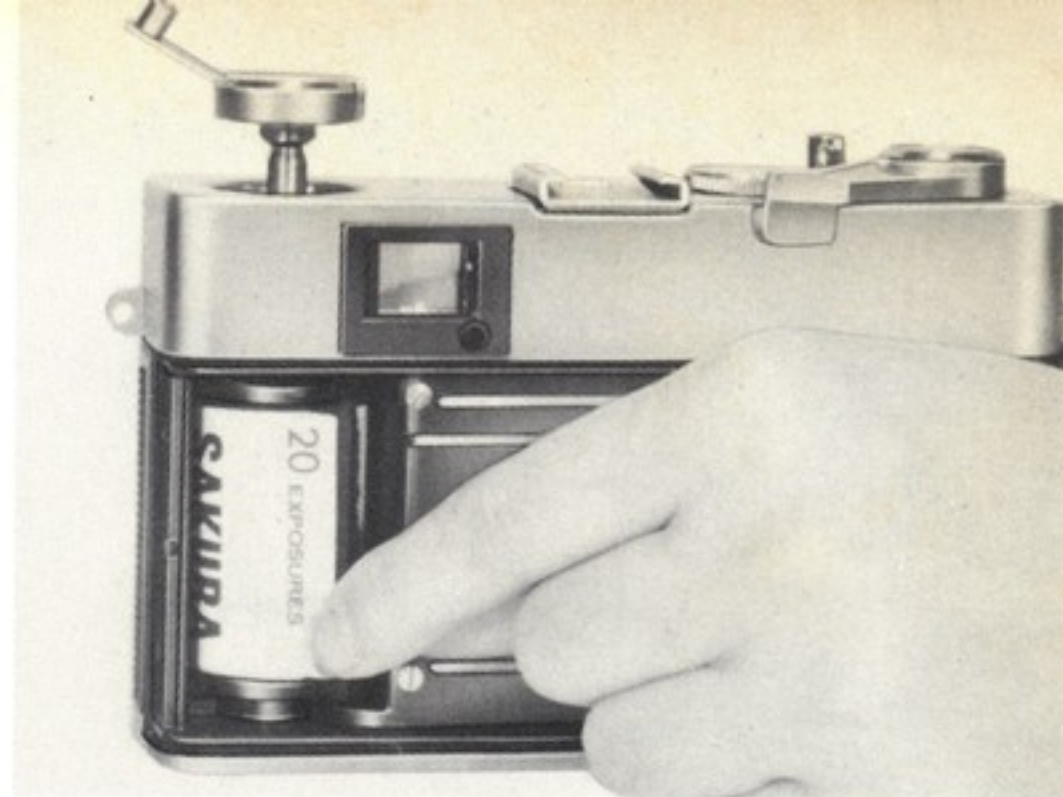
- フィルムが終りになった最後の巻上げで、レバー⑮が途中で止って動かなくなったときは、無理に巻上げないで、巻戻しボタン⑳を押したまま、レバーを止まる位置まで巻上げて元に戻してください。

- ①巻戻しボタン㉓を押してください。ボタンは一度押せばひっこんだままになります。
- ②巻戻しクランク㉑を起して、矢印の方向に回します。これでフィルムがパトローネに巻戻されてゆきます。このとき巻戻しボタ



ンが回転します。

③巻戻しボタンの回転が止ったら — このとき手ごたえが急に軽くなります。 — 巻戻し完了ですから、裏ぶたを開き、パトローネを取り出します。



- ひっこんだ巻戻しボタンは、次の巻上げによって元に戻ります。
- カメラからパトローネを取り出すときは、日陰でおこなってください。

フィルターを使うときは



フィルターは金属わく付、ねじ径49ミリ、ピッチ0.75ミリのねじ込み式を使用します。

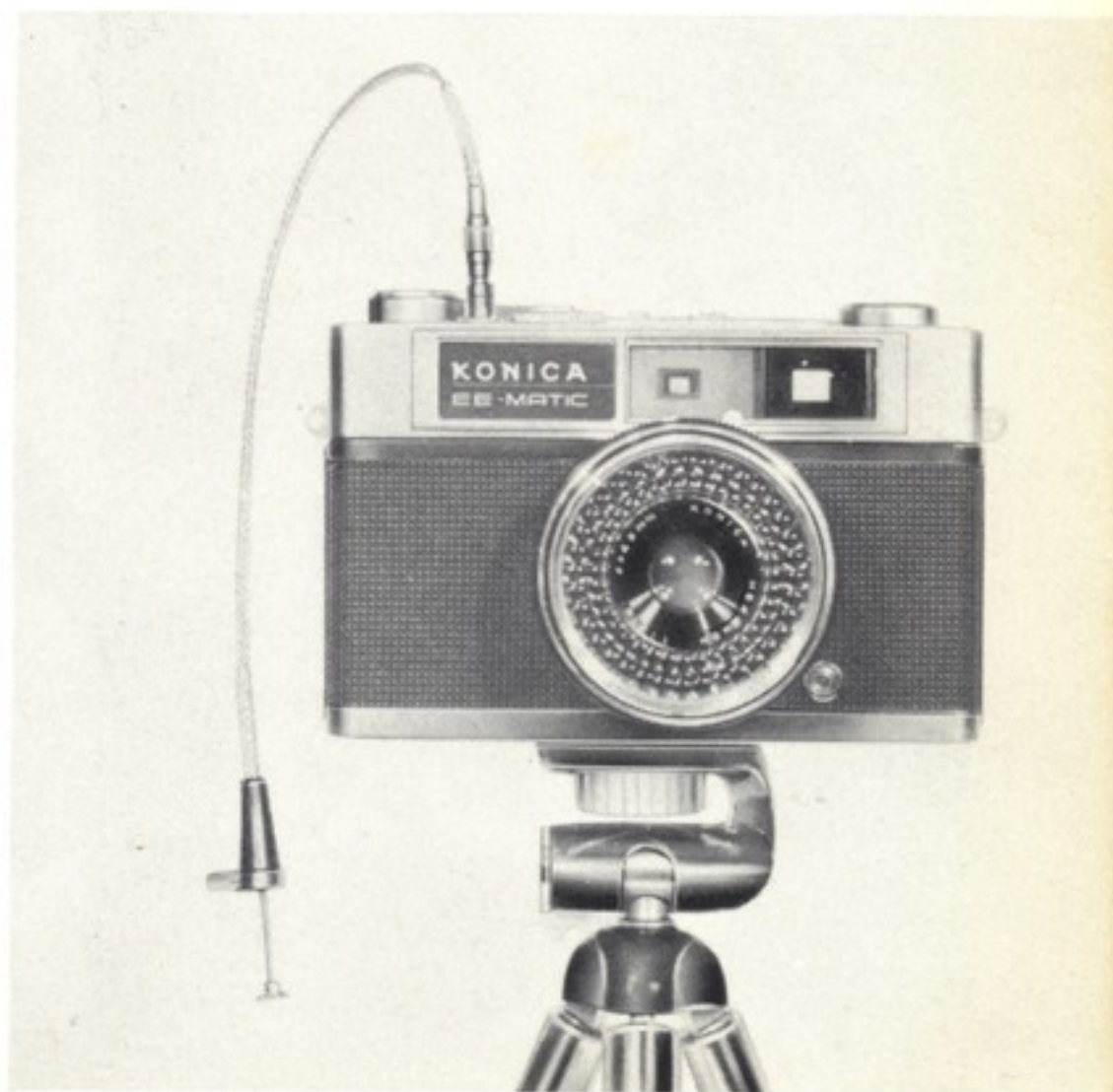
コニカEEマチック・デラックスはメーター受光部がサークラインで、フィルターは受光部ごとおおってしまうので、使用フィルターの露出倍数は自動的に修正されます。したがって、フィルターをつけても、なにも修正することなく、そのままEE撮影ができます。

コニカEEマチック・デラックスのフィルターは、UV・Y₁・Y₂の三種類が用意してあります。

B (バルブ) 露出について

マニュアルレバー⑳をBに合わせてシャッターボタン㉑を押すと、バルブ露出といって、ボタンを押している間シャッターが開いており、指を離すと閉じます。夜間撮影などの長時間露出の撮影に用います。

- B露出にすると絞りはF 2.8の開放の状態になっています。したがって、F 2.8に対する露出を与えてください。
- B露出を使用するときは、三脚を使用するか固定した台の上にカメラを安定させてください。このときは、ケーブルリリースをシャッターボタンの上にねじ込んでお使いください。



逆光線撮影の露出について



コニカEEマチック・デラックスのEE撮影では、普通は使用フィルムの感度（ASA）を正しく合わせたままで写されて結構ですが、次のような特殊な光線状態の場合は修正されることをおすすめします。

逆光線撮影の場合

非常に明るいバックの人物、逆光線撮影のときは、バックの光が強いために、実際に写したいものが露出不足になります。

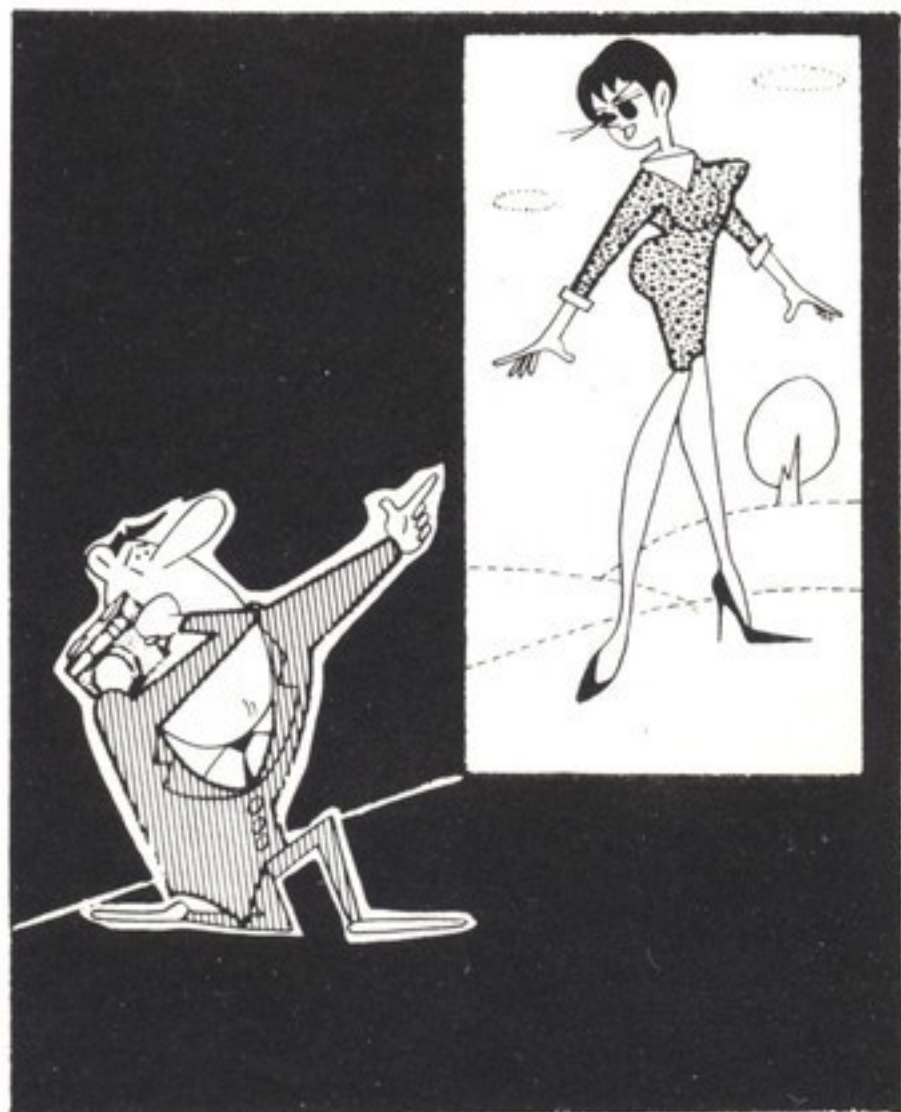
こんな条件のときは、半分に下げた数値のASA——たとえば——使用フィルムがASA100ならASA50——に合わせて二倍の露出をかけてEE撮影してください。

被写体だけ明るく周囲が暗い場合

人物だけ明るくバックの暗いような場合、薄暗い室内から周囲を含めて外を写すようなときは、周囲の暗さに影響されて、実際に写したいものが露出過度になります。

こんな条件のときは、二倍に上げた数値のASA——たとえば——使用フィルムがASA100ならASA200——に合わせて半分にきりつめた露出でEE撮影してください。

- これらの撮影がすんだら、必ず元のASAに合わせて直しておくことを忘れないでください。



フラッシュ撮影のやり方

フラッシュバルブ、あるいはストロボの発光とシャッターの開きを同調させ、暗いところでも被写体を明るく写しとめるのがフラッシュ撮影です。

発光器の取り付け

フラッシュガンあるいはストロボをカメラのアクセサリークリップ⑬に取り付け、コードの先端のプラグをカメラ前面のフラッシュ接続ソケット⑤につなぎます。



フラッシュ撮影では**AUTO**は使用できませんから、ガイドナンバー②⑥または、マニュアル絞り②②によって露出を決めます。

マニュアルレバーを**AUTO**からはずし、マニュアル絞り（**F2.8**～**F22**）使用中は、 $\frac{1}{30}$ 秒のシャッター速度になり、**X**接点（シャッターの羽根が全開したとき電流が通じる）ですから、**M**級、**F**級のフラッシュバルブ、ストロボのいずれも同調します。

- フラッシュ撮影は距離**5**メートル～**1.5**メートルの範囲内でご利用ください。



ガイドナンバーによる露出の決め方



フラッシュバルブにガイドナンバーが示してある場合は、まず被写体に正しくピントを合わせます。次にフォーカスリングを動かさないように注意しながら、マニュアルレバー⑳を動かして、使用するフラッシュバルブのガイドナンバー㉔に合わせてください。これで適正絞りが決まっています。

ガイドナンバー目盛

(60)	(30)	(15)	
80	· 40	· 20	· 10 m(メートル)

300	· 200	· 100	· 60	· 40	
(250)	(150)	(80)	(50)	f(フィート)	

- カッコ内の数字は中間の点に相当する目盛です

マニュアル絞りによる露出の決め方

フラッシュバルブの種類によっては、ガイドナンバーが書いてないで、被写体距離に応じた絞り目盛を直接示したものがあります。このときは、距離に応じて指定された絞り目盛②に、マニュアルレバー②⑩を合わせてください。

マニュアル絞りはフラッシュ撮影のほか、一般撮影にも用いられます。ただし、この場合はシャッター速度が $\frac{1}{30}$ 秒ですから、この速度に適した絞りを決めてください。



コニカEEマチック・デラックスの おもな性能

画面サイズ	24×36ミリ
使用フィルム	35ミリフィルム (J135) パトローネ入り
レンズ	ヘキサノン F2.8 40ミリ 3群4枚構成
シャッター	セイコーシャLA プログラム自動シャッター セルフタイマービルトイン B・ $\frac{1}{30}$ 秒～ $\frac{1}{250}$ 秒 Bは絞り開放のみ マニュアル絞りでは $\frac{1}{30}$ 秒 X接点
ファインダー	採光式ブライツフレーム 倍率0.6× シャッター速度表示 警告マーク 付 マニュアル絞りにするとフラッシュマークが現われます
ピント合わせ	二重像合わせ式の距離計連動 距離計の有効基線長 15.6ミリ 至近撮影 距離0.9メートル (3フィート)
露出調節	EE (エレクトリック・アイ) 機構による自動調節
EE連動範囲	ASA100においてEV8 (F2.8 $\frac{1}{30}$ 秒) ～EV17 (F22 $\frac{1}{250}$ 秒)

安 全 装 置	暗すぎて写せないところでは シャッターボタンを押したとき ファインダー内に警告マークが現われシャッターがきれません
フィルム 巻 上 げ	トップレバーによる一操作巻上げ セルフコッキング 二重露出防止 巻上げ角134°
フィルムカウンター	裏ふたを開くと自動的にスタートマークに戻るオートマチックフィルムカウンター 順算式
フィルム 巻 戻 し	巻戻しボタンを一度押してクランクで巻戻す (巻戻し中はボタンが回転)
そ の 他	ガイドナンバー合わせによる簡便なフラッシュ撮影
フ ィ ル タ ー	ねじ込み式 ねじ径49ミリ ピッチ0.75ミリ
大 き さ 重 量	127ミリ (幅) × 79.5ミリ (高さ) × 66ミリ (厚さ) 630グラム

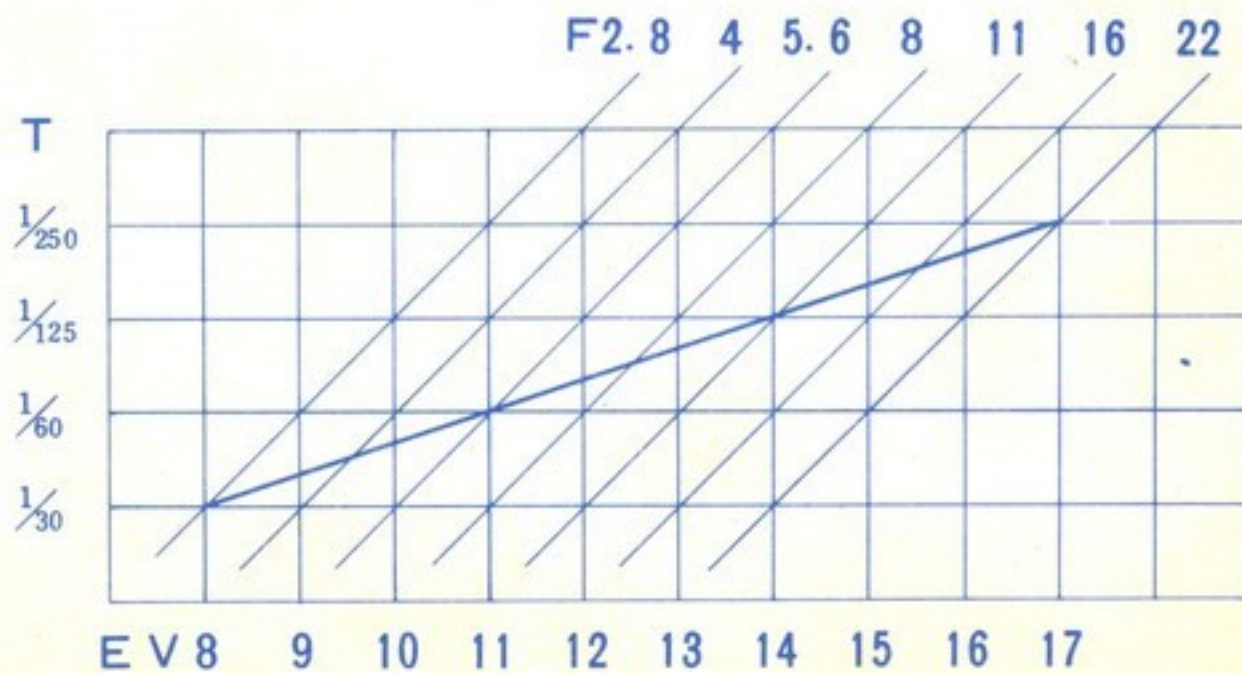
コニカEEマチック・デラックスの シャッターについて

コニカEEマチック・デラックスのセイコーシャLAプログラム自動シャッターは、あらかじめ組み合わされた絞りとシャッター速度が、一定の関連をもちながらEE機構に連動してF2.8 $\frac{1}{30}$ 秒からF22 $\frac{1}{250}$ 秒の間で無段階に変わって露出が決まるしくみで、暗いときには絞りが開いてシャッター速度が遅く、明るいときには小絞りになってシャッター速度が速くなります。

これらがすべて自動的に働き、その変化は図の太線のように組み合わされています。

EE連動範囲：

EV 8 ~ EV 17



コニカカメラサービス・ステーション

東京・東京都中央区日本橋室町3-1	電話 東京 270-5311 大代表
大阪・大阪市南区長堀橋筋1-3	電話 大阪 271-0451 代表
福岡・福岡市下呉服町13	電話 福岡 28-0392
名古屋・名古屋市中区日ノ出町22	電話 名古屋 231-6241 代表
札幌・札幌市北二条2-32	電話 札幌 26-0261~5
広島・広島市本川町2-6-9(和田ビル)	電話 広島 31-2187~8
仙台・仙台市東三番丁126(菅原ビル)	電話 仙台 22-8990~1
金沢・金沢市上堤町16(高陵商会内)	電話 金沢 61-0783~4

KONIPHOTO CORPORATION

257 Park Ave. South, New York 10, N.Y., U. S. A.

KONICA EUROPE

% Deutsche Mitsubishi Export-Import GmbH.
Humburg 36, Neuer Wall 54, West Germany.

KONICA

小西六写真工業株式会社

東京都中央区日本橋室町3-1

電話 東京 270-5311 大代表